当科は呼吸器内部「地域密着の診療科」

を目指します

呼吸器内科診療につきまして

当科が行う診療としましては肺炎・インフルエンザならびに新型コロナウイルス感染症などのウイルス性疾患・肺真菌症・慢性閉塞性肺疾患(在宅酸素療法および非侵襲的人工呼吸療法の導入,呼吸リハビリテーション)・気管支喘息・間質性肺炎(特発性間質性肺炎・サルコイドーシスなど)・肺癌など多岐にわたります.

診療にあたって、放射線治療はできません. 常勤医の数も限られておりますので、集学的な治療が必要な方は適切な施設をご紹介しております.

患者さんを外来でお待たせしたくなく、当科は 完全予約制にしております事をお許しください。

検査体制

病院ですので、大概の一般的な検査はできます。2025年の改善点としましては、

- ①当院では、結核を疑った場合にはまずは T-SPOT 検査を行いますが、陰性例を経験しています. QFT 検査もあわせて行っています(冒液の抗酸菌培養も行っていますが・・・).
- ②間質性肺炎マーカーの KL-6・SP-D を院内でできるようになり、当日結果説明できるようになりました。
- ③以前からマイコプラズマの迅速検査は導入していましたが、感度が低い事が問題でした、マイコプラズマの LUMP 法とともに、最近流行している百日咳の LUMP 法と迅速検査を導入しました。
- ④アスペルギルス抗体 IgG を測定できるようになりました.

診療スタンス

当院は医師の数が限られていますが,逆に他科へ(気軽に)相談しやすい環境です.

一人一人, 症例報告を書くつもりで, 日々診療にあたっています.

一人一人にきめ細かい医療を提供します

